

大判カラープリンタシステム利用マニュアル

情報部情報基盤課 共同研究支援係 共同利用支援係

2020年10月1日初版

1 はじめに

センターでは2020年10月から新大判カラープリンタシステム（ヒューレットパッカード社、HP DesignJet Z6 PS dr V-Trimmer）を導入しました。従来の大判カラープリンタでは印刷後に左右の余白をカットする必要がありました。今回導入した大判カラープリンタには自動的に左右の余白をカットする機能 V-Trimmer が搭載されており、余白のカットの手間がなくなりました。

各大判カラープリンタは、プリントサーバに接続されており、プリントサーバに印刷ファイルを転送することで、PowerPointなどで作成したスライドをA0サイズまで拡大して出力することが可能になります。

大判カラープリンタは、サイバーサイエンスセンター本館1階の利用相談室にあります。ご利用には、プリントサーバにログインするための利用者番号と、印刷ファイルを転送するためのUSBメモリが必要です。

本稿では、新大判カラープリンタシステムを用いた、光沢紙、ソフトクロス紙への印刷方法をご紹介します。

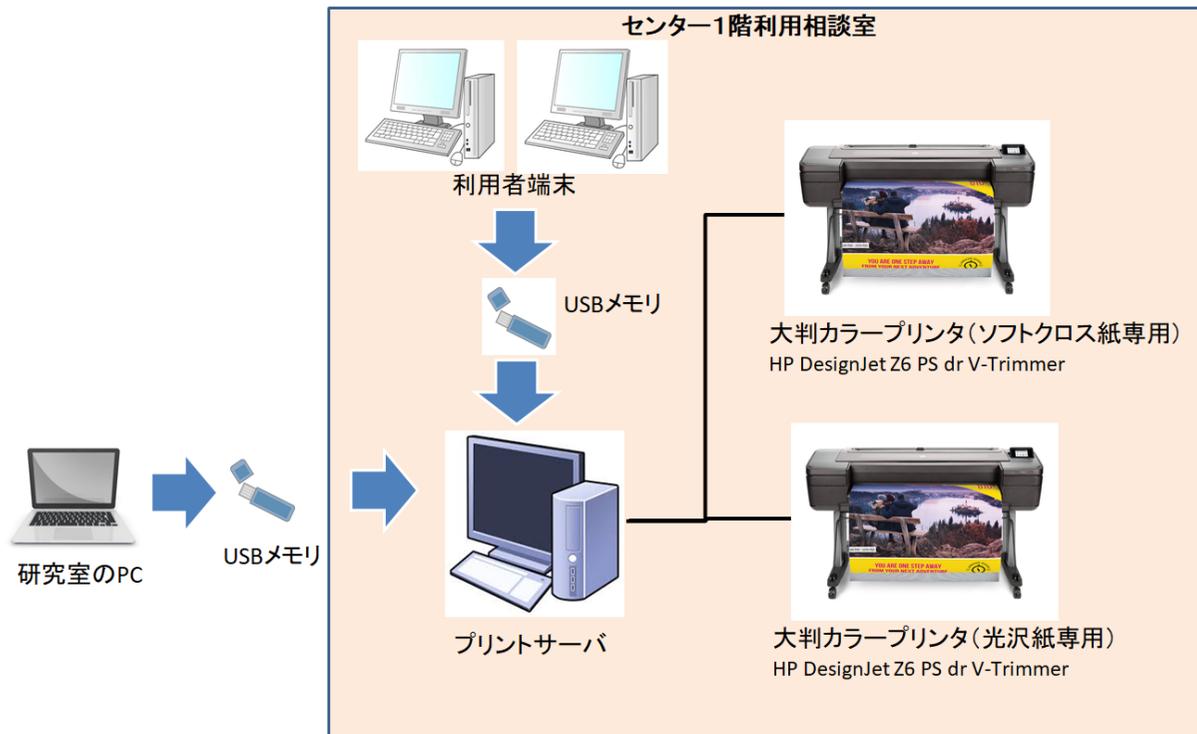


図1 大判カラープリンタシステムの構成 (2020年10月1日～)

2 印刷ファイルを作成する方法

印刷ファイルを PowerPoint 等で A4 などのサイズで作成した場合、印刷したいサイズに変換する必要があります。A0 や A1 等のサイズで作成された PDF ファイルの場合、変換は不要です。「3. 印刷ファイルの大判カラープリンタでの印刷方法」をご参照ください。

本センターの利用者端末には、Microsoft Office、印刷ファイルを作成するのに必要な各大判カラープリンタドライバが導入済みです。利用者端末のログインには利用者番号とパスワードが必要です。

作成したポスター等のデータを Word や PowerPoint などのアプリケーションで開き、タブから「ファイル」→「印刷」を選びます（図 2）。印刷ウィンドウにある「プリンター」から「HP DesignJet Z6 44in PS3」を選択します。

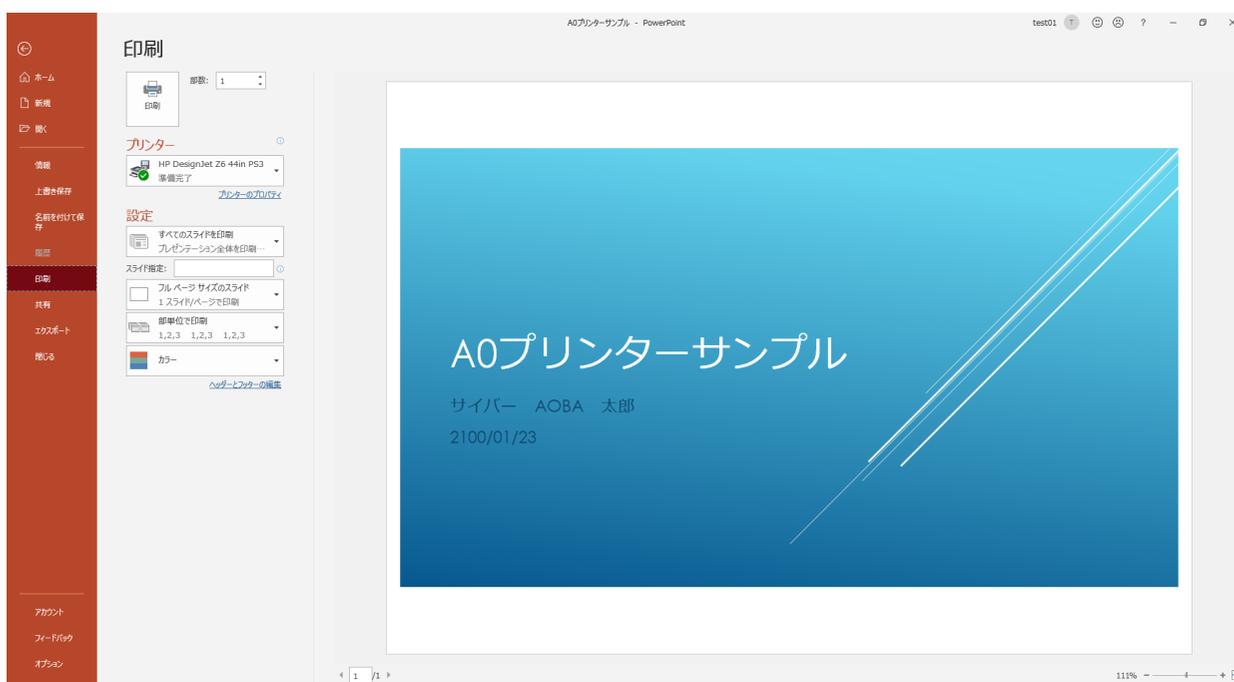


図 2 「ファイル」選択画面

プリンタを選択後、「プリンターのプロパティ」リンクをクリックします。

「用紙/品質」タブの「文章サイズ」ではアプリケーションで作成した原稿サイズを選択します。標準オプションのスライダーバーをスライドさせることで印刷品質を変更できます（図 3）。

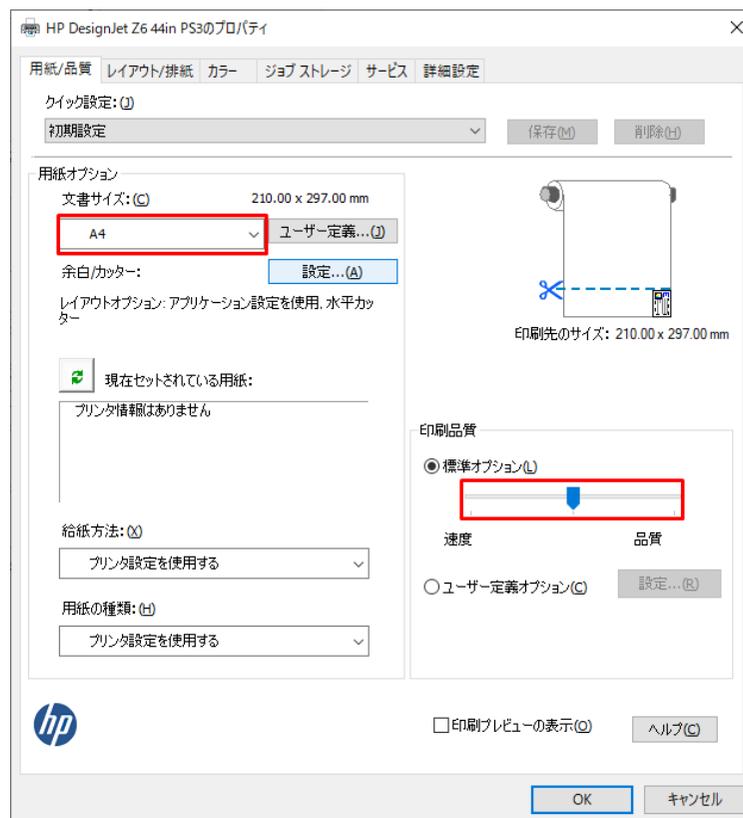


図3 「用紙/品質」画面

原稿のサイズと印刷する用紙サイズが異なる場合は、「レイアウト/排紙」タブの「合わせる」から、出力したいサイズを選択します。画面右側の「印刷先のサイズ」が指定したサイズになります。最大 A0 サイズまで指定が可能です（図4）。

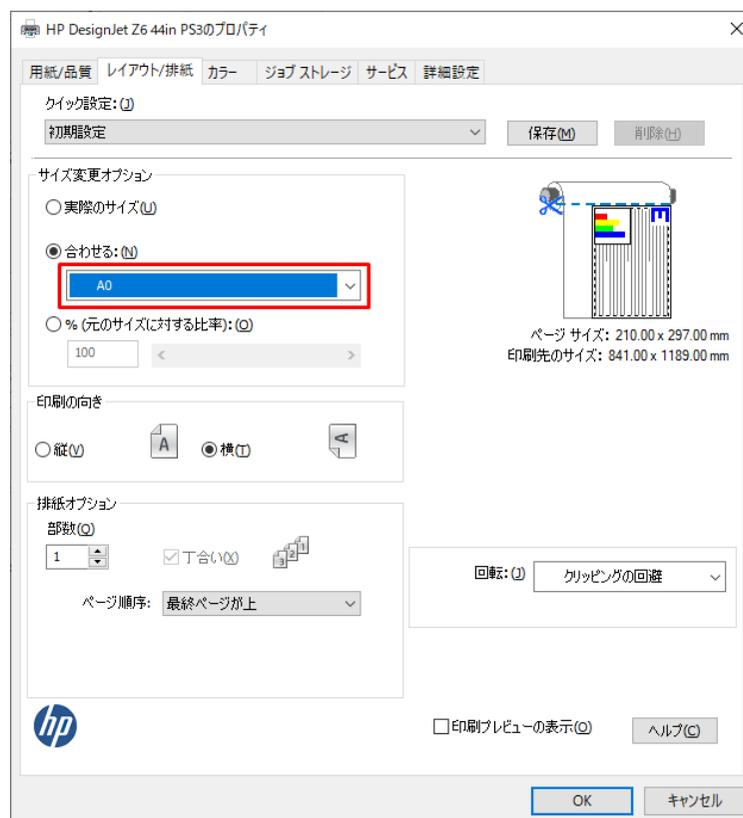


図4 「レイアウト/排紙」画面

すべての設定が終わったら「OK」をクリックします。印刷ウィンドウに戻るので、「印刷」を選びます。

「ファイルへ出力」ウィンドウが表示されますので、USB メモリを選択してファイル名を入力して、「OK」を選ぶと印刷ファイルが作成されます（図5）。

ファイル名は英数字とし、保存先のフォルダまでのパスに日本語を含まないようにしてください。

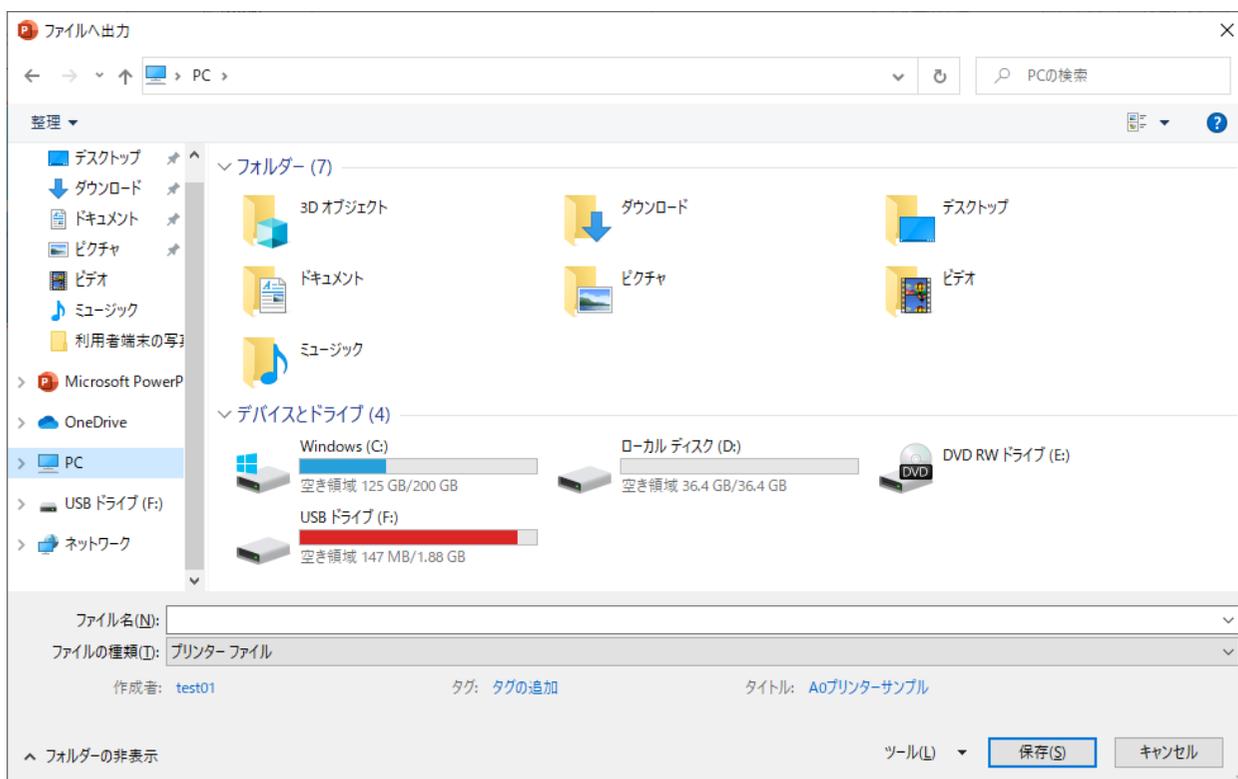


図5 「ファイルへ出力」画面

3 印刷ファイルの大判カラープリンタでの印刷方法

印刷ファイルの印刷は、利用者相談室にあるプリントサーバ（図6）で行います。



図6 プrintサーバ

■印刷方法

プリントサーバに利用者番号とパスワードを入力し、プリントサーバにログインします(図7)。



図7 ログイン画面

ログインするとデスクトップ画面が表示されます (図 8)

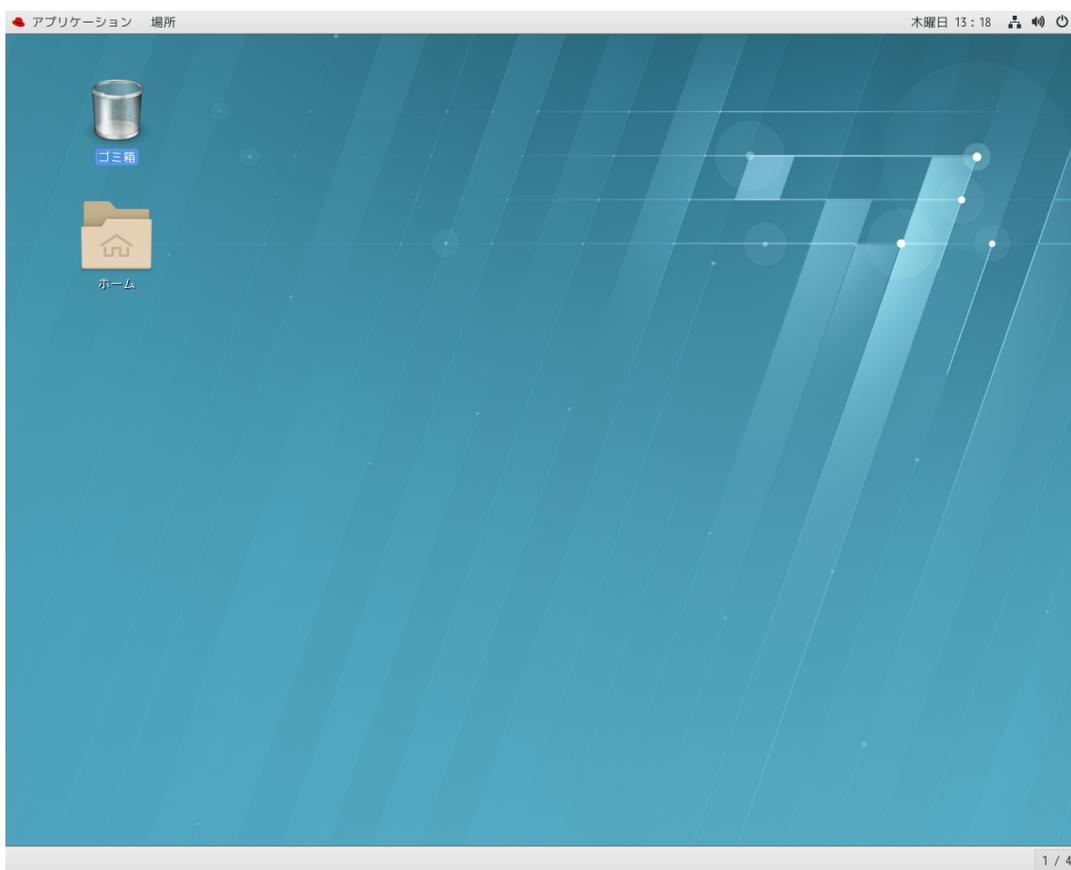


図 8 デスクトップ画面

プリントサーバ本体の前面にある USB ポートに USB メモリを接続します (図 9)。



図 9 プリントサーバの USB ポート

プリントサーバのデスクトップ上に USB メモリのアイコンが表示されます。(図 10)

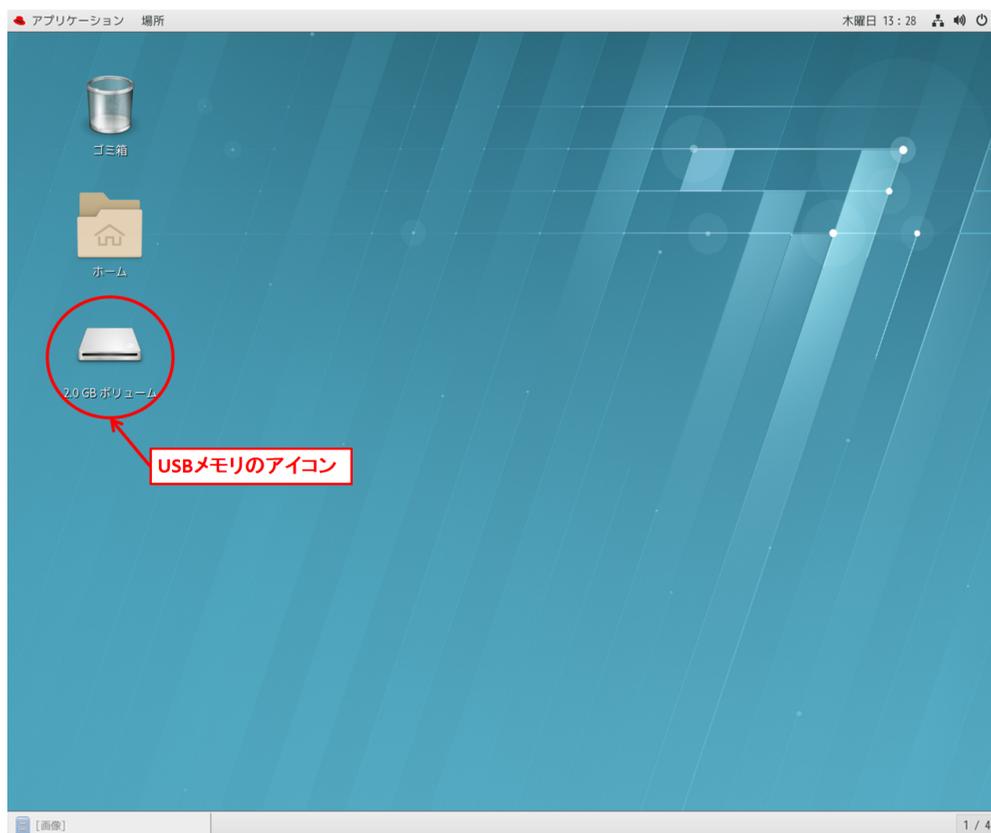


図 10 プリントサーバのデスクトップ

印刷コマンドを入力するために、ターミナルウィンドウを開きます。ターミナルウィンドウは、画面上部にある「アプリケーション」→「システムツール」→「ターミナル」から起動できます(図 11)

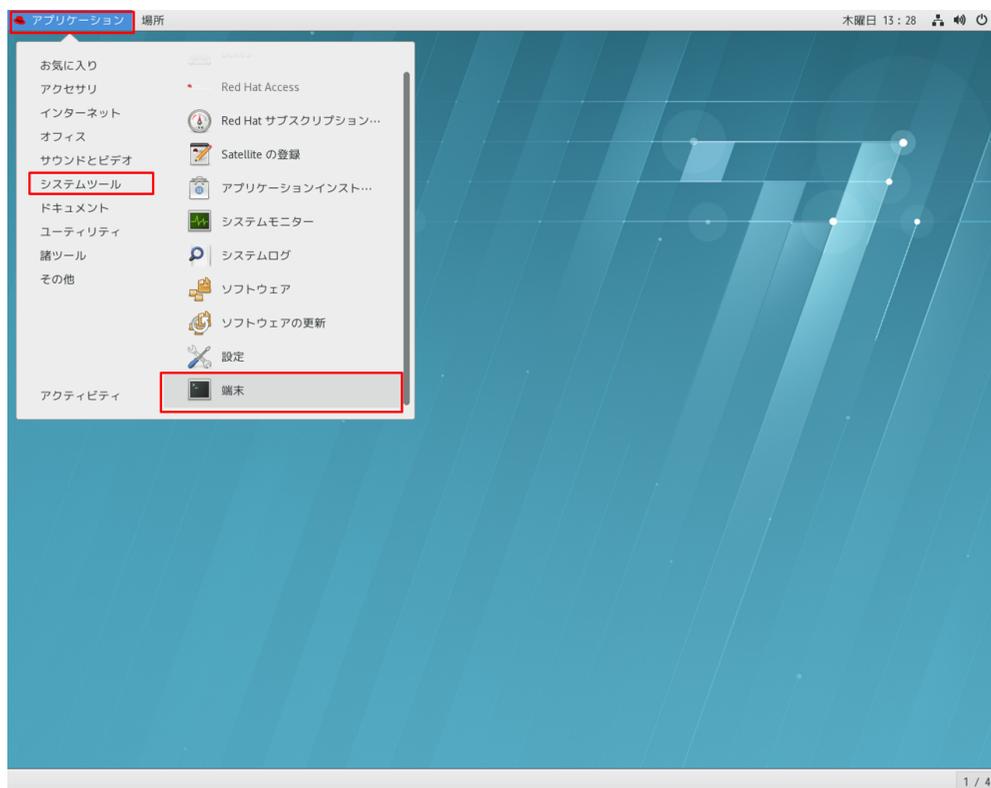


図 11 ターミナルウィンドウの起動

ターミナルウィンドウを開いたら印刷する用紙に合わせて以下のコマンドを入力します。コマンドの最後に半角スペースを入れるのを忘れないでください。

■印刷コマンド

- ソフトクロス紙に印刷する場合 `lpr-sc` (半角スペース)
- 光沢紙に印刷する場合 `lpr` (半角スペース)

次にデスクトップの USB メモリのアイコンをクリックして USB メモリウィンドウを開き、印刷ファイルを USB メモリウィンドウから、コマンドを入力したターミナルウィンドウにドラッグします (図 12)。

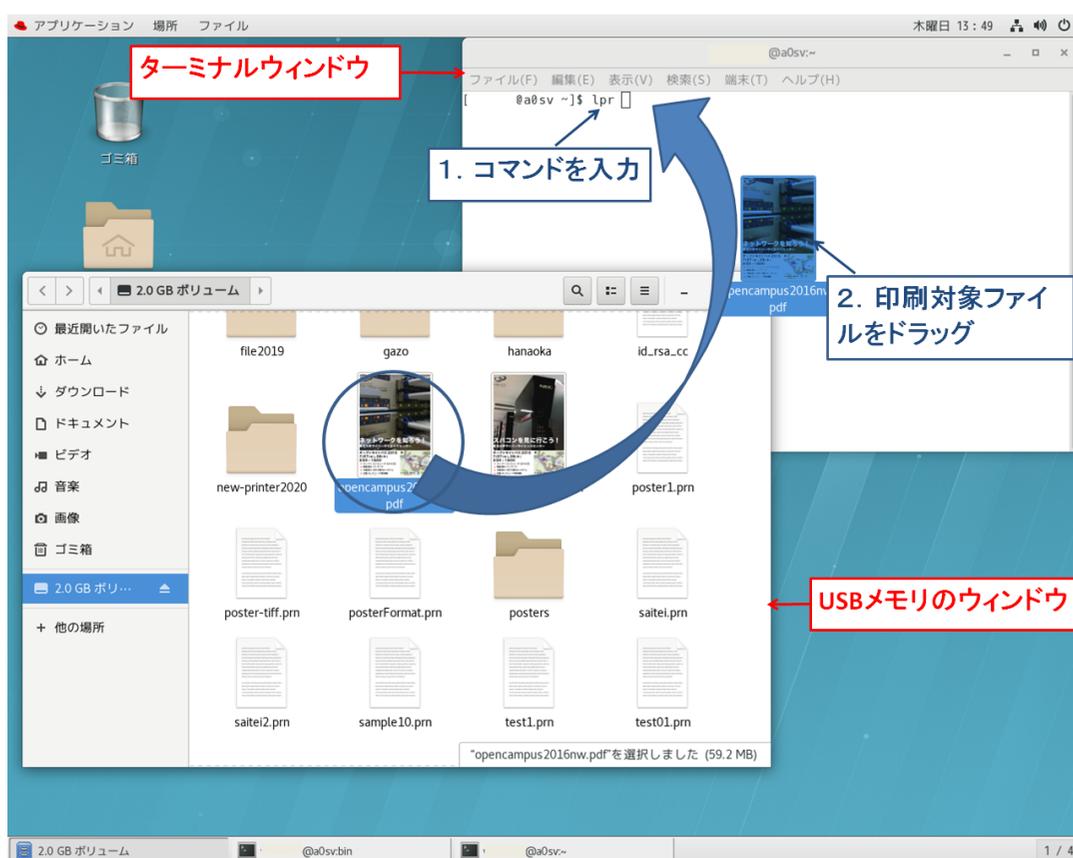


図 12 印刷ファイルの入力方法

入力したコマンドの後にファイル名が入力されるので、ターミナルウィンドウをアクティブ (コマンドが入力できる状態) にし、内容を確認して実行します (キーボードのエンターを押下する) (図 13)。エンターキーを押下する前に、印刷対象のファイルについて誤りがないかご確認ください。



図 13 ファイル名入力後のターミナルウィンドウ

以上で、大判カラープリンタからファイルが印刷されます。

ソフトクロス紙の出力負担経費は1枚につき1200円、光沢紙は600円となっております。

大判カラープリンタは印刷が終わると、自動的に用紙を切り取り、用紙受けに紙を排出します。

4 ログアウト方法

印刷後はデスクトップ上にある不要なファイルを削除します。プリントサーバからログアウトするため、USBメモリを取り出します。USBメモリのアイコンを右クリックし、「取り出す」を選択します。アイコンが消えたらプリントサーバ本体から抜き取ってください（図14）

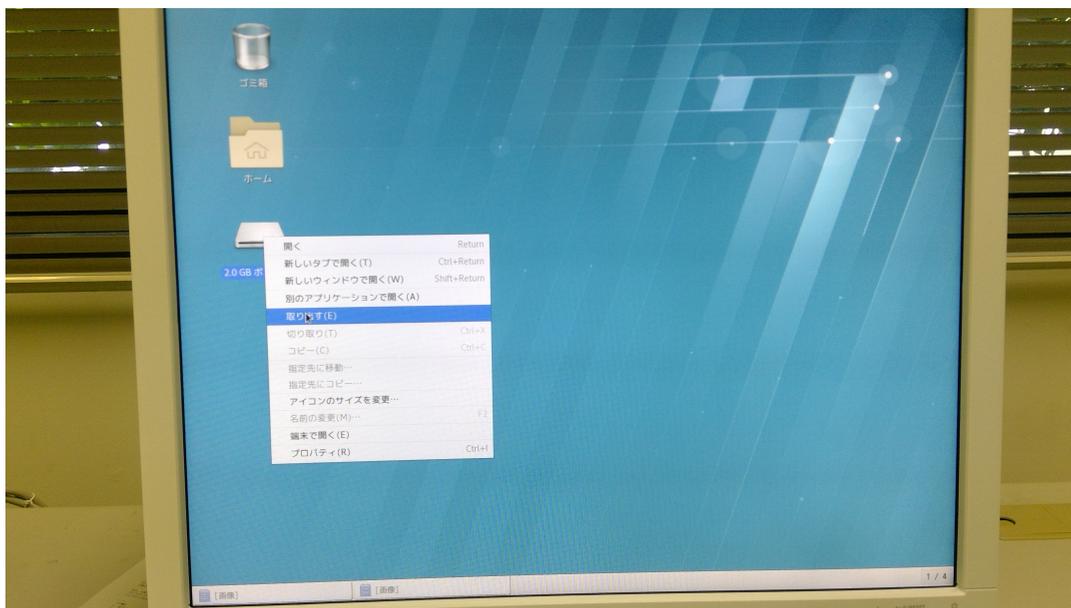


図 14 USBメモリのメニュー画面

USBメモリを取り出した後、画面上部右側の電源アイコンをクリックし、ユーザ名の右側の三角アイコンをクリックし、ログアウトを選択します（図15）。

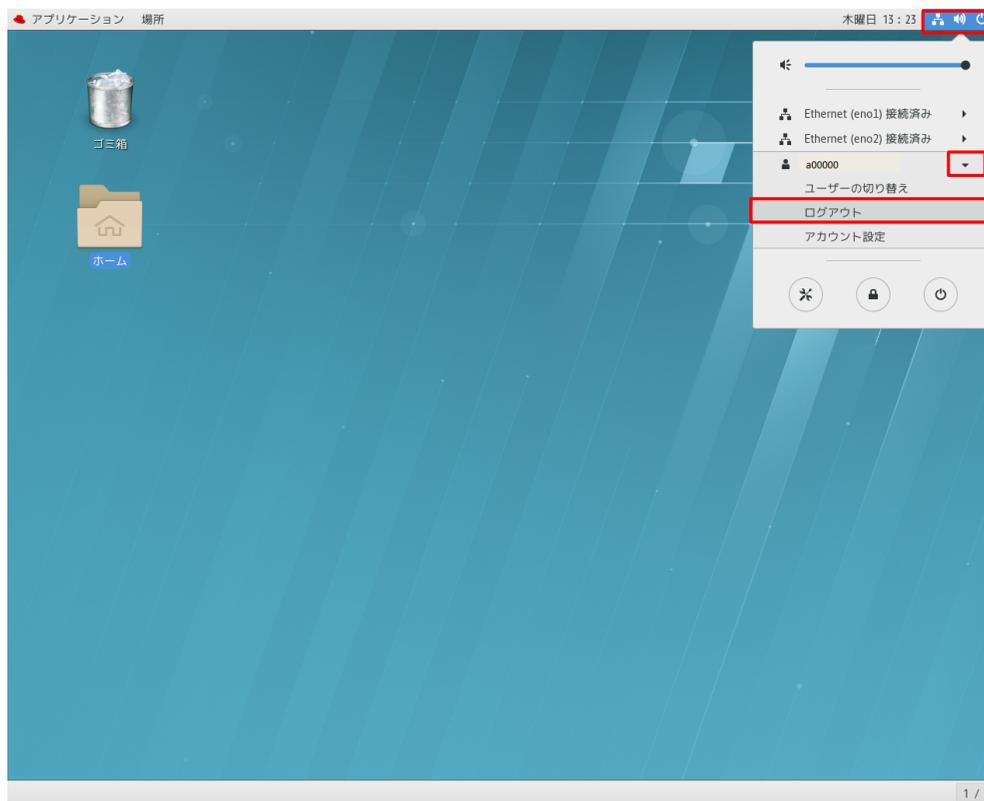


図15 ログアウトメニュー

ログアウト画面が表示されるので、「ログアウト」を選択します（図16）

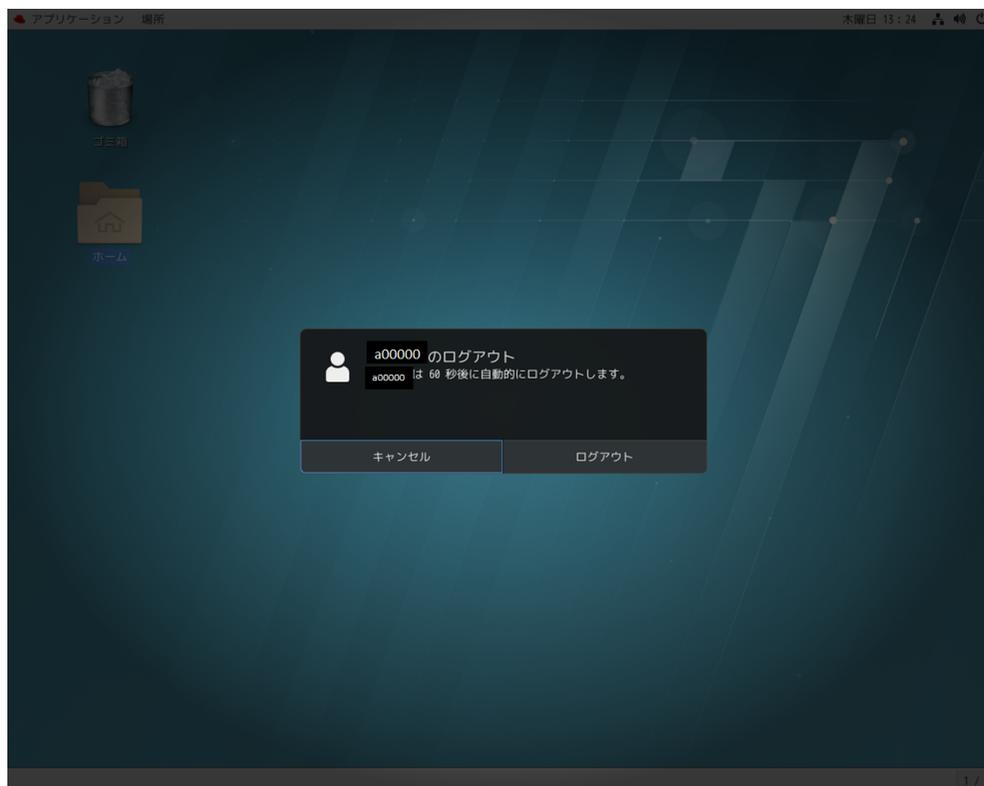


図16 ログアウト確認画面

以上でログアウト完了です。印刷用紙の切れ端がある場合は、ゴミ箱に捨ててください。

5 おわりに

今回センターに導入した大判カラープリンタは V-Trimmer 機能により、余白のカットの手間がなくなりました。プリンターで印刷可能なソフトクロス紙は、織り目がつきにくく、持ち運びに非常に便利です。また、光沢紙は色鮮やかな印刷が可能です。ぜひご活用ください。